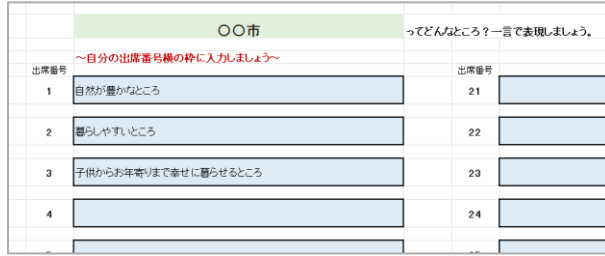
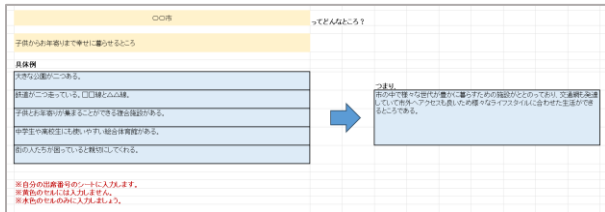


区分	学年	教科等	単元等	活用アプリ
中	2	国語	情報「抽象と具体」	表計算ソフト
授業内容	<p>抽象と具体の違いを知り、表現する</p> <p>準備：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの「どんなところ」のシート、黄緑色のセルにお題となる地域名等を入力する。</li> <li>ワークシート用ファイルを共同編集できる場所に保存する。</li> </ul> <p>授業の流れ：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの「どんなところ」のシートに、お題に対して各自、自分の出席番号の横の水色の枠に入力する。（抽象的な表現）</li> <li>各自、自分の出席番号のシートに、自分が入力した「どんなところ」の具体例を水色の枠に5つまで書き出す。（具体的な事例）</li> <li>同じく自分の出席番号のシートに、具体的な事例をふまえて「つまり、」に続く表現として再度まとめる。（抽象化）</li> <li>1・2・3で入力した内容を接続詞（「例えば」「そして」等）を用いて文章化し、ペアで伝え合い、抽象化が適切であったかを相互に確認する。</li> <li>抽象と具体とはどのようなものであるか、全体で確認する。</li> </ol>			<p>活用ツール</p> <p>セル参照の関数</p>
	<p>「どんなところ」シート（抽象的な表現）</p> 			<p>個人のシート（具体例と、抽象化したまとめ）</p> 
ICT利活用のポイント		<p>最初に共有しながら入力することで、友達の意見を確認しながら入力をすすめることができます。</p> <p>取り組み全体の共有が容易にできます。</p>		
おすすめポイント		<p>表計算ソフトのワークシートをお使いいただけます。</p>		